



使用する前に

ここでは、Java APIを使用できるプラットフォームのほか、インストール、コンパイル、実行開始の手順について説明します。

- [Java API \(p.1-2\)](#)
- [Java API のインストール \(p.1-3\)](#)
- [コンパイルと実行 \(p.1-4\)](#)

Java API

- [Java API とは \(p.1-2\)](#)
- [プラットフォーム \(p.1-2\)](#)
- [パッケージの内容 \(p.1-2\)](#)

Java API とは

Java API は、SCMS Subscriber Manager (SM) のアップデート、クエリー、設定に使用できます。この API は次に示す 2 つの部分で構成されています。これらは、個別に使用できるだけでなく、制限なく一緒に使用できます。

- SM Non-blocking Java API – 高性能 API。エラーやその他の操作結果のわかりやすさは重視されていません。OSS/AAA システムとの自動統合をサポートしています。
- SM Blocking Java API – 使いやすさを重視した API。SM のアクセスおよび管理用のユーザーインターフェイスアプリケーションをサポートしています。

プラットフォーム

SM Java API は、Windows プラットフォームで開発され試験されましたが、Java バージョン 1.4 をサポートしている任意のプラットフォームで動作可能です。

パッケージの内容

簡潔に示すため、以下ではインストールディレクトリ `sm-java-api-vvv.bb` を `<installdir>` と示します。

The `<installdir>/javadoc` フォルダには、API JAVADOC マニュアルが入っています。

The `<installdir>/lib` フォルダには、`smapi.jar` ファイルが入っています。このファイルは、API 実行可能ファイルです。このフォルダには、API 操作に必要なその他の jar ファイルも入っています。

表 1-1 インストールディレクトリのレイアウト

パス	名前	説明
<code><installdir></code>		
	README	API readme ファイル
<code><installdir>/javadoc</code>		
	index.html	すべての API 仕様のインデックス
	(API 仕様ファイルなど)	API 仕様書
<code><installdir>/lib</code>		
	smapi.jar	SM API 実行可能ファイル
	asn1rt.jar	API で使用される jar ユーティリティ
	jdmkrt.jar	API で使用される jar ユーティリティ
	ilog4j.jar	API で使用される jar ユーティリティ
	log4j.properties	API ログ機能に必要なプロパティファイル
	xerces.jar	API で使用される jar ユーティリティ

Java API のインストール

Java API ディストリビューションは、SCMS SM-LEG ディストリビューション ファイルの一部で、**sm_api** ディレクトリに配置されています。

Java SM API は、UNIX tar ファイルに実装されています。Java SM API は UNIX tar ユーティリティまたはほとんどの Windows 圧縮ユーティリティで展開できます。

- [SM のセットアップ \(p.1-3\)](#)
- [Unix または Linux プラットフォームへのインストール \(p.1-3\)](#)
- [Windows プラットフォームへのインストール \(p.1-3\)](#)

SM のセットアップ

API は SM 上の PRPC サーバに接続します。API を機能させるには、次の条件を満たす必要があります。

- SM が起動され稼働中であり、API のホスト マシンから到達できること。
- PRPC サーバが起動されていること。

PRPC サーバはシスコが開発した独自の PRC プロトコルです。PRPC サーバの詳細については、『*SCMS Subscriber Manager User Guide*』を参照してください。

Unix または Linux プラットフォームへのインストール



(注) 略語の **vvv** および **bb** は、Java SM API のバージョンとビルド番号を示しています。

ステップ 1 SCMS SM-LEG ディストリビューション ファイルを解凍します。

ステップ 2 Java SM API ディストリビューション tar **sm-java-api-dist.tar** を検索します。

ステップ 3 Java SM API ディストリビューション tar を解凍し、sm-java-api-vvv.bb.tar を取得します。

```
#>tar -xvf sm-java-api-dist.tar
```

ステップ 4 Java SM API パッケージ tar を解凍します。

```
#>tar -xvf sm-java-api-vvv.bb.tar
```

Windows プラットフォームへのインストール

ステップ 1 zip 圧縮 / 解凍ユーティリティ (WinZip など) を使用します。

コンパイルと実行

SM Java API を使用するプログラムをコンパイルして実行するには、**smapi.jar** を CLASSPATH に入れる必要があります。

たとえば、プログラム ソースが **SMApiProgram.java** にある場合は、次のコマンドラインを使用してプログラムをコンパイルします。

```
#>javac -classpath smapi.jar SMApiProgram.java
```

プログラムをコンパイルしたあと、次のコマンドラインを使用してプログラムを実行します。

```
#>java -cp .;<installdir>/lib/smapi.jar SMApiProgram
```